

ビジネスに直結する情報を素早く入手

日経テレコン 活用法



与信管理・
コンプラ編

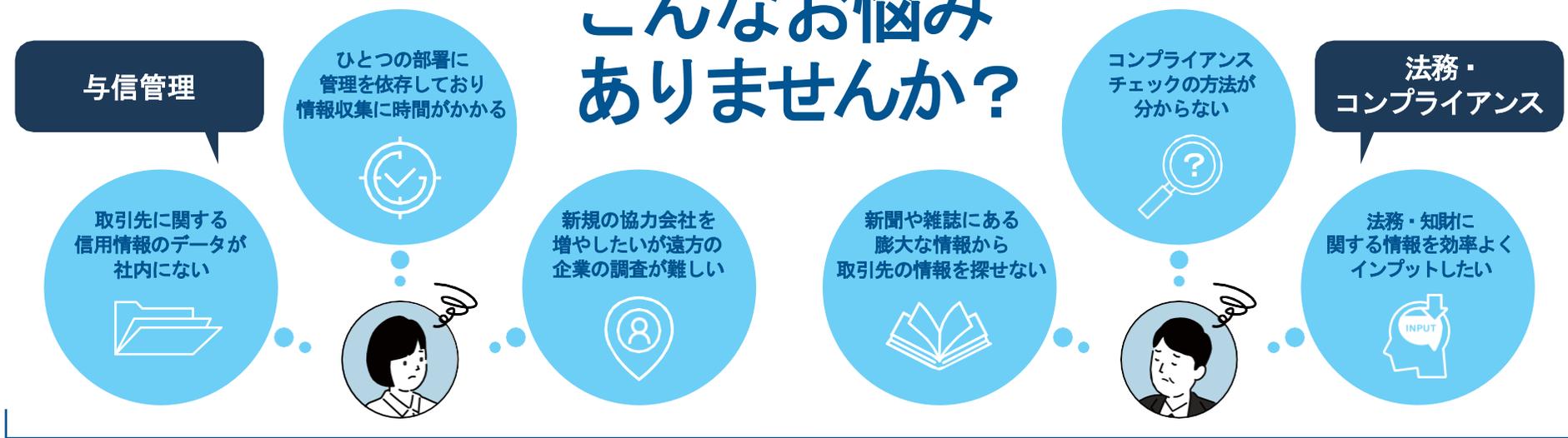
業務に関する情報を効率よくインプットしたい方

取引先の評価方法が知りたい方

コンプライアンスチェックの体制を確立したい方

おすすめコンテンツも紹介

こんなお悩み ありませんか？



情報収集の効率化と意思決定のスピードアップを実現できます

日経テレコン

豊富な情報ソース



高度な検索機能



企業情報の横断検索



メール自動通知



新聞、雑誌、業界、企業、人物など ワンストップ情報収集サービス

日経テレコンは、多数のメディアや調査会社から提供された情報をデータベース化し、横断的に検索・閲覧ができるようにした有料・会員制のインターネットサービスです。

500以上の媒体で
掲載・報道された記事を収録

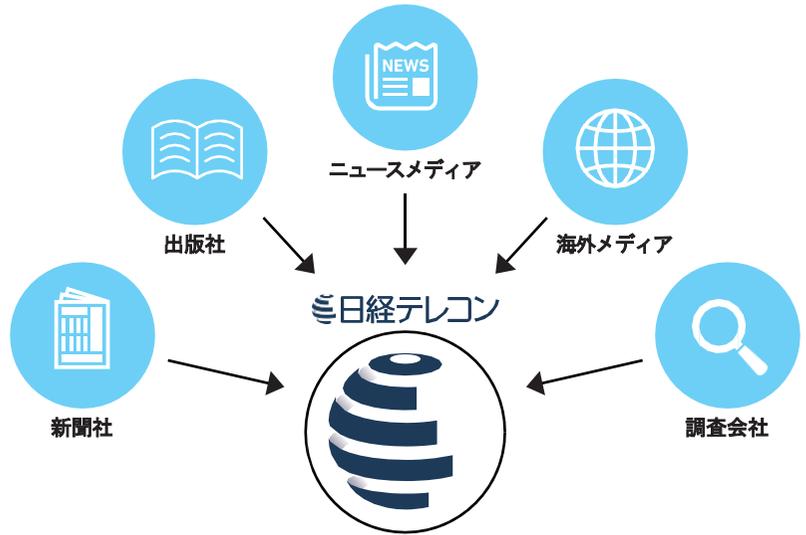


- 業界専門紙の収録 **100** 紙
- キーパーソン人物情報 **30** 万人
- 国内外の記事情報 **1.5** 億本

情報収集をアシストする便利なスマートフォンアプリも用意



外出先や通勤中に確認できます！



膨大なビジネス情報を
データベース収録



- 記事情報
 - 企業情報
 - 業界情報
 - 人物情報
- など、さくさく検索！

活用は多岐にわたります

- 与信管理・信用調査
- コンプライアンスチェック
- 業界・消費者動向分析
- 競合他社の調査
- 取引先の動向把握
- 新規顧客開拓

活用例

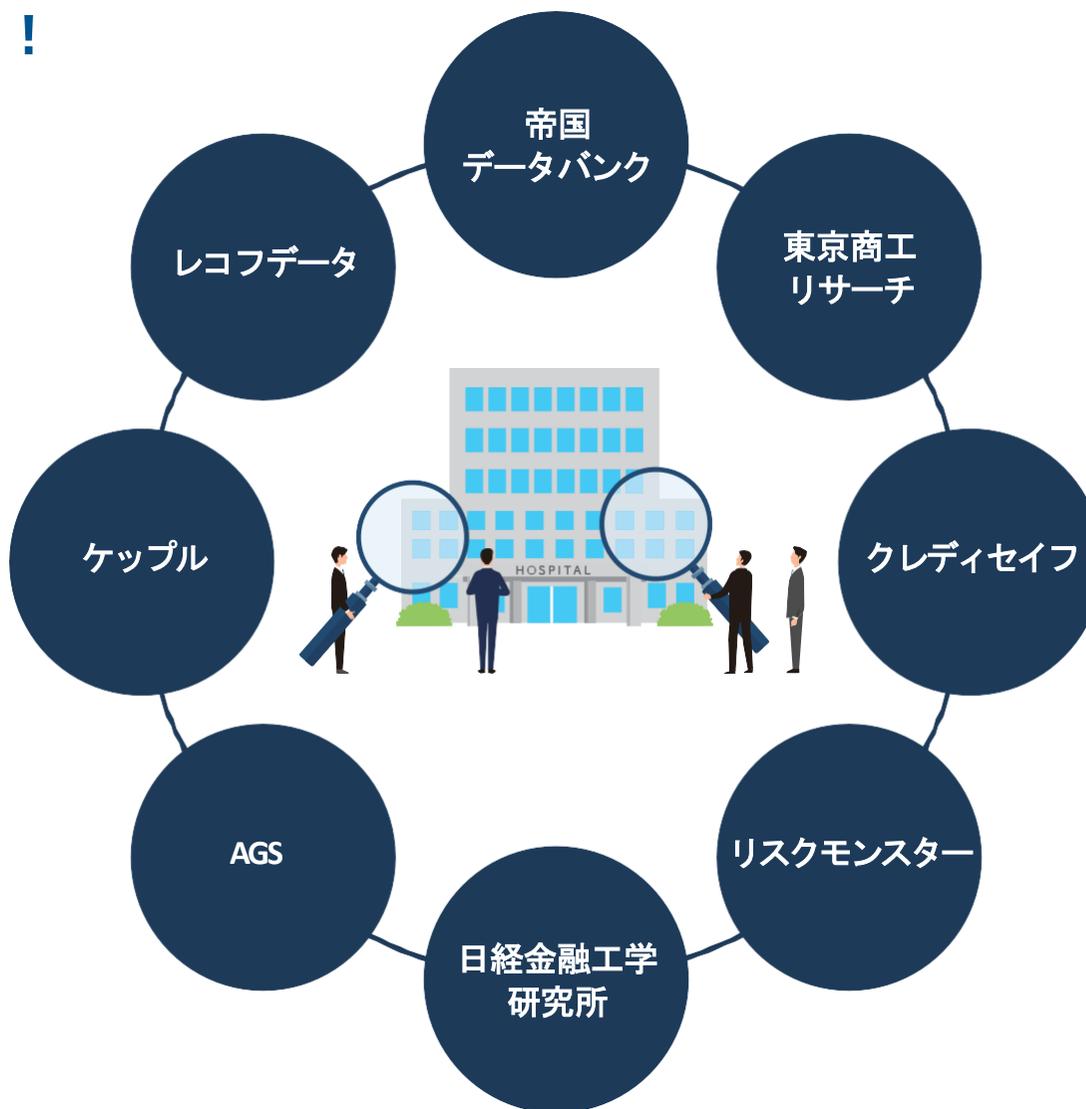
1

複数のデータベースを まとめてチェック！

日経テレコンなら複数の媒体から
企業情報を横断検索！

信頼できる50の企業データベースを横断して
情報を把握できるので欲しい情報が見つかります。
非上場企業の情報も、複数媒体を
活用することで漏れなくチェックができます。

信頼できる
情報ソースがたくさん！
安心して取引先のリスクを
確認できる！



最新の決算や
財務情報を効率的に
収集できるようになった！





決算データや格付の更新をメールでお知らせ

活用例

2

通知メール機能で企業の格付の変更を即座にキャッチ！

評点・格付などの企業評価は、経営状態や事業環境を反映して定期的に見直しが行われています。

あらかじめ登録した企業について、評価・格付に変化が生じた際に、電子メールでその旨を通知します。

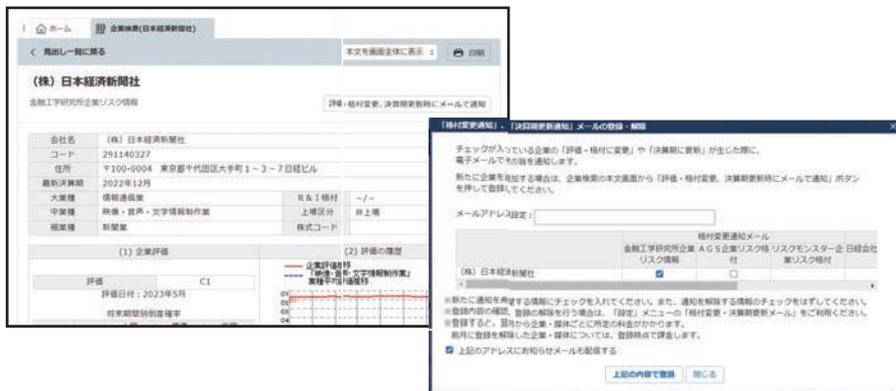
活用例

3

定期的に更新される企業の決算や財務情報を見逃さない！

取引先など定期的に決算内容をチェックする必要がある企業は、「決算期更新通知メール」を活用。

最新の決算データが収録されたタイミングを知ることができます。



評点やリスク格付、倒産確率を即座に入手できるようになりました。



企業の変化を素早く把握し、取引のリスクをいち早くキャッチしています。

対象媒体

金融工学研究所企業リスク情報、AGS企業リスク格付、リスクモンスター企業リスク格付

対象媒体

日経会社プロフィール、東京商工リサーチ企業情報、帝国データバンク企業情報



与信管理でおすすめのコンテンツ

特に、取引先の与信管理には以下の6種類のデータベースが多く使われています。

データベース名	特徴	評価	更新タイミング
帝国データバンク 企業情報	株主、主要取引先などの基本項目のほか、過去6期分の売上高、税引後利益、資本構成などの財務項目を収録	帝国データバンクが企業の業績・業歴など様々な観点から判断して評価した当該企業の評点。	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月 ● 個別会社ごとにみると原則年1回（随時調査後）
東京商工リサーチ 企業情報	最大5期分の業績データ、業種別売上高順位、評点、事業概況などを収録	東京商工リサーチ独自の採点基準でつけられた評価点（絶対評価）で、最大100点です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月 ● 個別会社ごとにみると原則年1回（随時調査後）
金融工学研究所 企業リスク情報	<ul style="list-style-type: none"> ①金融機関向けに企業の信用リスク評価モデルを提供する 金融工学研究所が長年の経験と実績を活用して開発 ②豊富な分析指標と分かりやすいグラフ表示 ③1・2・3年先までの倒産確率 	企業評価は東京商工リサーチ企業情報と財務情報に金融工学研究所独自の情報を加味して総合的に評価した結果です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月 ● 評価モデルは毎年見直し
AGS企業リスク 格付	<ul style="list-style-type: none"> ①金融機関のノウハウで信用リスクを評価 ②格付に影響したポイントをコメント 	信用スコアリングモデルは、財務情報に基づくAモデルと企業情報に基づくBモデルの2種類のモデルがあり、各企業の信用状態を9段階で格付けします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月 ● 個別会社ごとにみると原則年1回（随時調査後）
リスクモンスター 企業リスク格付	<ul style="list-style-type: none"> ①総合商社の管理部門で培われた与信ノウハウ ②売上、収益に関する診断コメント ③毎日のデータ更新 	財務情報・企業情報に、事件・事故、登記、手形などの情報を加味し総合的に判断します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎日
クレディセイフ 企業情報	約153万社の基礎情報のほか、倒産確率に基づく客観的な評価としてのスコアや与信限度額、業績・財務情報、ステークホルダー等を収録。	100が最も信用度が高く、1が最も信用度の低い指標とし、当該企業が今後12か月以内に倒産する可能性を予測。	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月 ● 個別会社ごとにみると原則年1回（部分更新のみの場合あり）



与信管理でおすすめのコンテンツ

—新設企業情報・海外情報—

スタートアップ企業の情報収集なら！

スタートアップ企業の情報を以下の3つの情報ソースで確認・閲覧することができます。

1 帝国データバンク 新設企業情報

(株)帝国データバンクが調査・収集した設立2年未満の新設企業の登記情報です。

2 東京商工リサーチ 新設企業情報

(株)東京商工リサーチが調査・収集した設立日より18カ月以内の新設企業の登記情報です。

3 ケッブルスタートアップ企業情報

(株)ケッブルが収集したスタートアップ企業（原則として設立4年未満）の情報について、会社概要、事業概要および資金調達状況を登記情報などから簡潔にまとめています。



公開情報が少ないスタートアップの情報が
多角的に収集できた！

海外企業の情報収集なら！

海外の企業データベースも日経テレコンに収録しております。海外取引先のチェック時にも活用することができます。

1 Factset 企業情報

FactSet Research Systems（米国）が収集した、グローバルな上場企業データです。世界各国の上場企業約45,000社を収録しています。

2 D&Bグローバルプロフィール

Dun & Bradstreet (D&B) が提供する全世界の企業情報データベースです。世界8,500万事業所の情報を閲覧できます。

手が届きづらかった
海外企業の与信管理もできるように！



参考

情報を最大限に生かすために

与信管理の体制づくりの2ステップ

STEP 1

社内評価マトリックスを作成する

社内評価マトリックスを作成して決裁時の判断基準を設けている企業もごいます。

例えば、以下の表のように社内で定義付けをしておけば、

「調査点数」の平均値によって、課長決裁なのか、

部長決裁なのか**決裁判断を明確化**することができます。

■社内評価マトリックスの例

調査点数	5	4	3	2	1	0
東京商工リサーチ企業情報	80~100	65~79	50~64	W~X	Y	Z
帝国データバンク企業情報	86~100	66~85	51~65	D1~D2	D3	D4
クレディセイフ企業情報	100	71	51	30	21	0
金融工学研究所企業リスク情報	C1~C2	C3~C4	C5~C6	C7~C8	C9	C10
AGS企業リスク格付	A1	A2~A3	A4~A5	A6~A7	A8	A9
リスクモンスター企業リスク格付	A	B	C	D	E1~E2	F1~F3

例：ある企業の評価が以下の場合

東京商工リサーチ・・・評価：51 金融工学研究所・・・格付：C6

帝国データバンク・・・評価：D1 AGS企業リスク格付・・・格付：A7

クレディセイフ・・・スコア：30 リスクモンスター・・・格付：E2

$3+2+2+3+2+1=13$ $13\div6=2.2$

調査点数平均値は2.2

決裁ルールが
明確になった!



STEP 2

算出した調査点数に応じた稟議基準を策定する

次に、算出した調査点数によって、社内での稟議基準を設けておきます。

具体的には以下のような表を作成し、

評価点数によって決済のレベルを変える仕組みを作ります。

取引先のリスクを管理した上で、効率的な企業活動を行うことができ、

内稟議のスピードアップにもつながります。

■稟議基準の例

決済 レベル	調査 点数	5	4.1~4.9	3.1~4.0	2.1~3.0	1.1~2.0	0
営業部長決済		1億円 未満	2000万円 未満	1000万円 未満	500万円 未満	500万円 未満	—
管理部長審議 業役員決済		—	2000万円~ 1億円未満	1000万円~ 5000万円未満	500万円~ 2000万円未満	500万円~ 2000万円	1000万円 未満
管理部長審議 社長決済		1億円 以上	1億円 以上	5000万円 以上	2000万円 以上	1000万円 以上	1000万円 以上

例：5,000万円以上の商談の場合

新規取引先の調査点数平均値が3以上であれば

課長決裁。3未満は部長決裁。

東京商工リサーチ・・・調査点数：4

$4+3+3=10$ $10\div3=3.3$

帝国データバンク・・・調査点数：3

調査点数平均値は3.3

クレディセイフ・・・調査点数：3

課長決済で
OKだ!



詳しく
知りたい方は

日経テレコン「企業分析ハンドブック」をダウンロード

<https://go.nikkei.jp/543892/2022-07-09/g8hrzc>



活用例
2

チェック件数が多い時は リストで検索

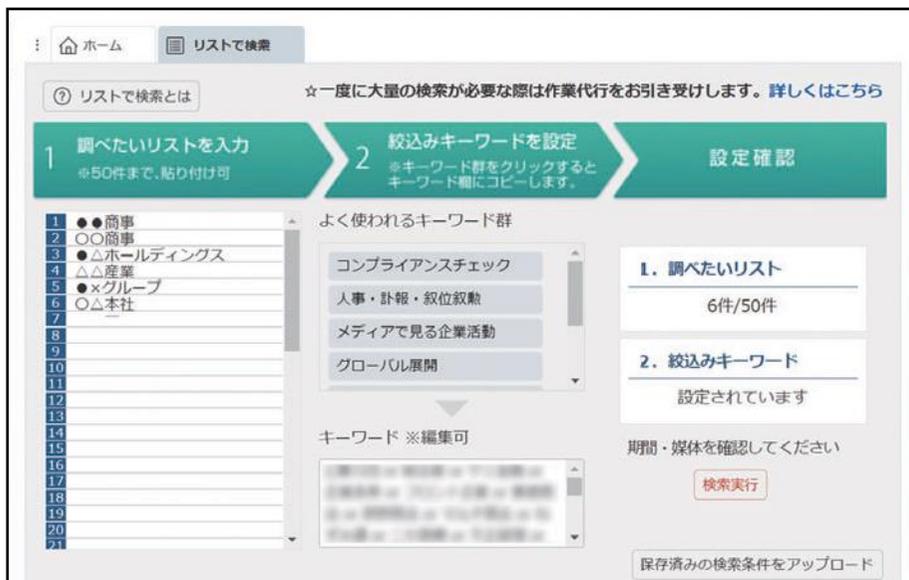
日経テレコンなら一度に最大50件検索できる！

一度に検索する対象件数が多い場合は、企業名や人名など、

お手持ちのリストと専門家が選定したキーワードを掛け合わせて

一度に最大50件までまとめて検索できるメニューもあります。

検索結果をレポートに出力し、証跡として保管管理することも可能です。



定期的なチェックが
楽にできるようになった！



法務・知財アーカイブ

きょうの新聞、最新の雑誌、記事検索の法律専門誌・サービスから、知的財産権やコンプライアンス、裁判、リスク管理、企業統治など法務・知財分野の最新ニュースを閲覧できます。



ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先

日本経済新聞社 日経テレコンヘルプデスク



電話

0120-212-212 (平日 9:00 ~ 19:00)



問い合わせ
フォーム

<https://t21s.jp/202310hd>

